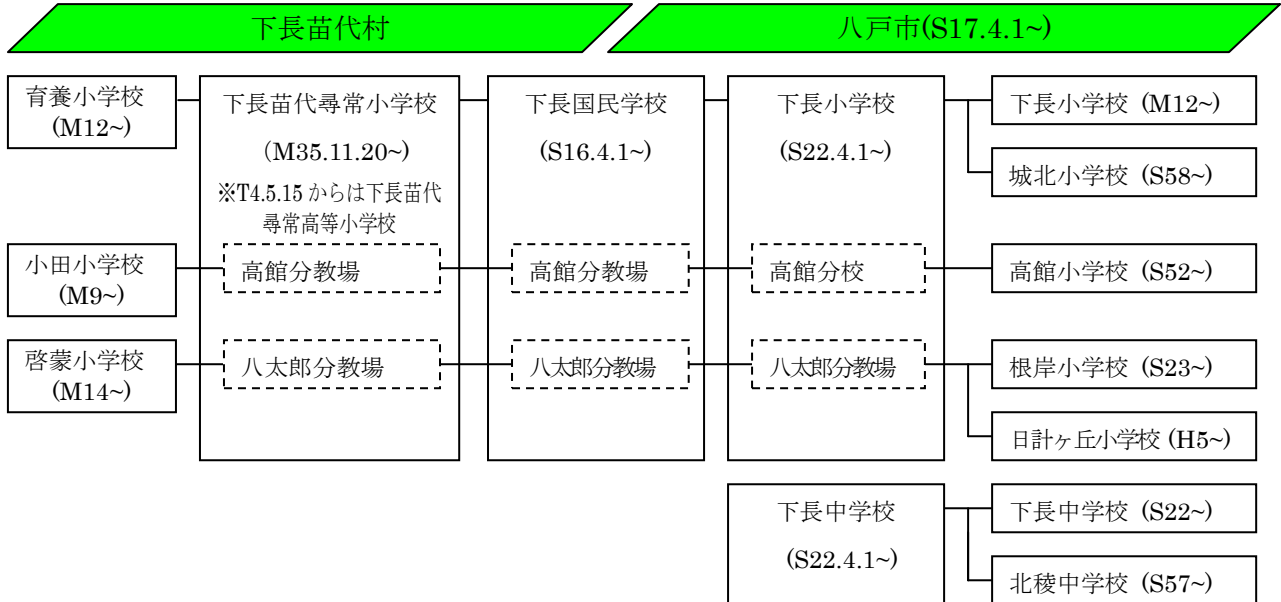


下長中学校地区・北稜中学校地区の地域概況

1. 変遷



2. 学校の接続



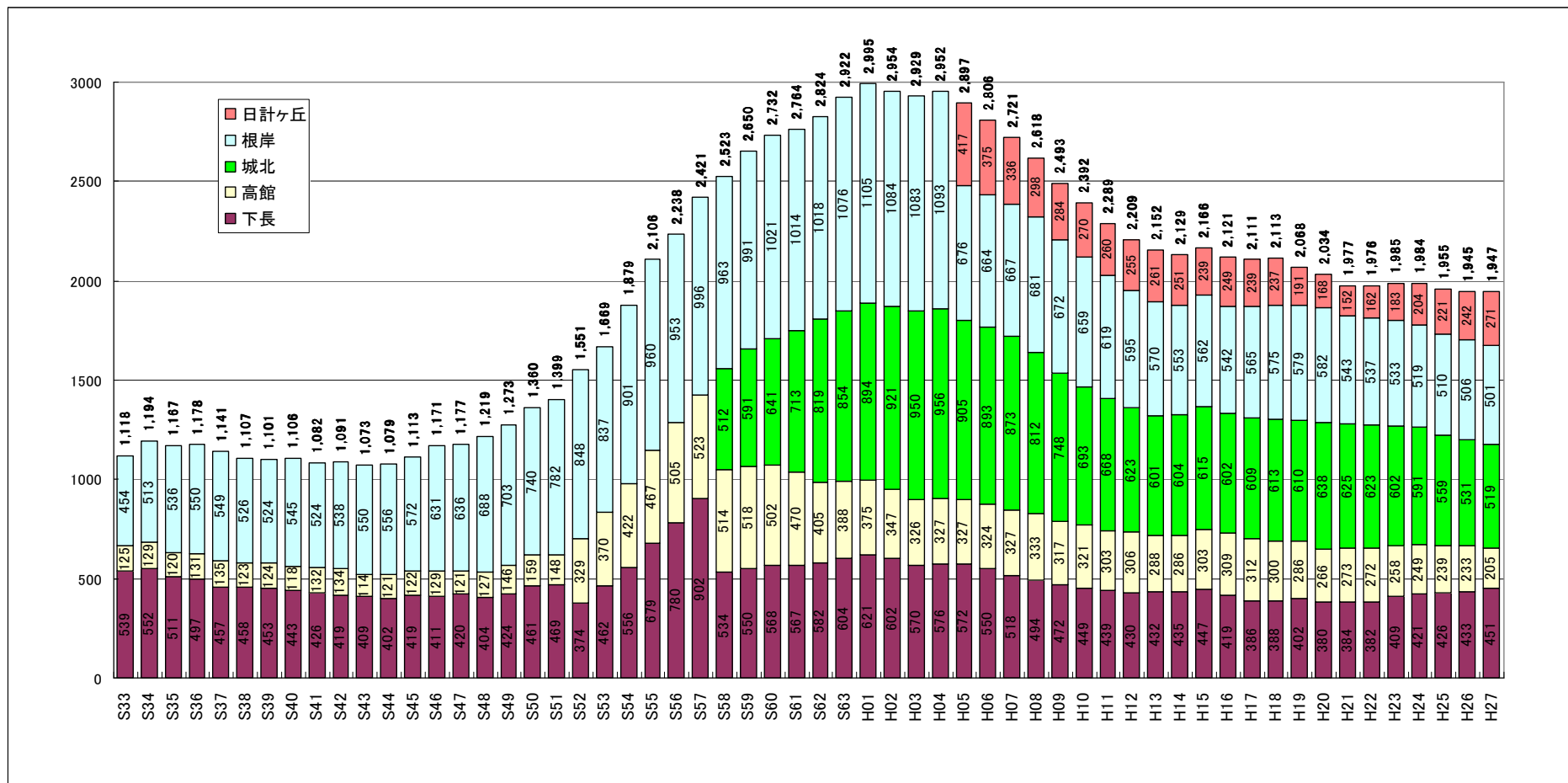
※ただし、高館小学校学区の「小田」「海上前」「高館ニュータウン」の町内は、指定校の下長中学校から北稜中学校に学区外通学することができる。

【参考】

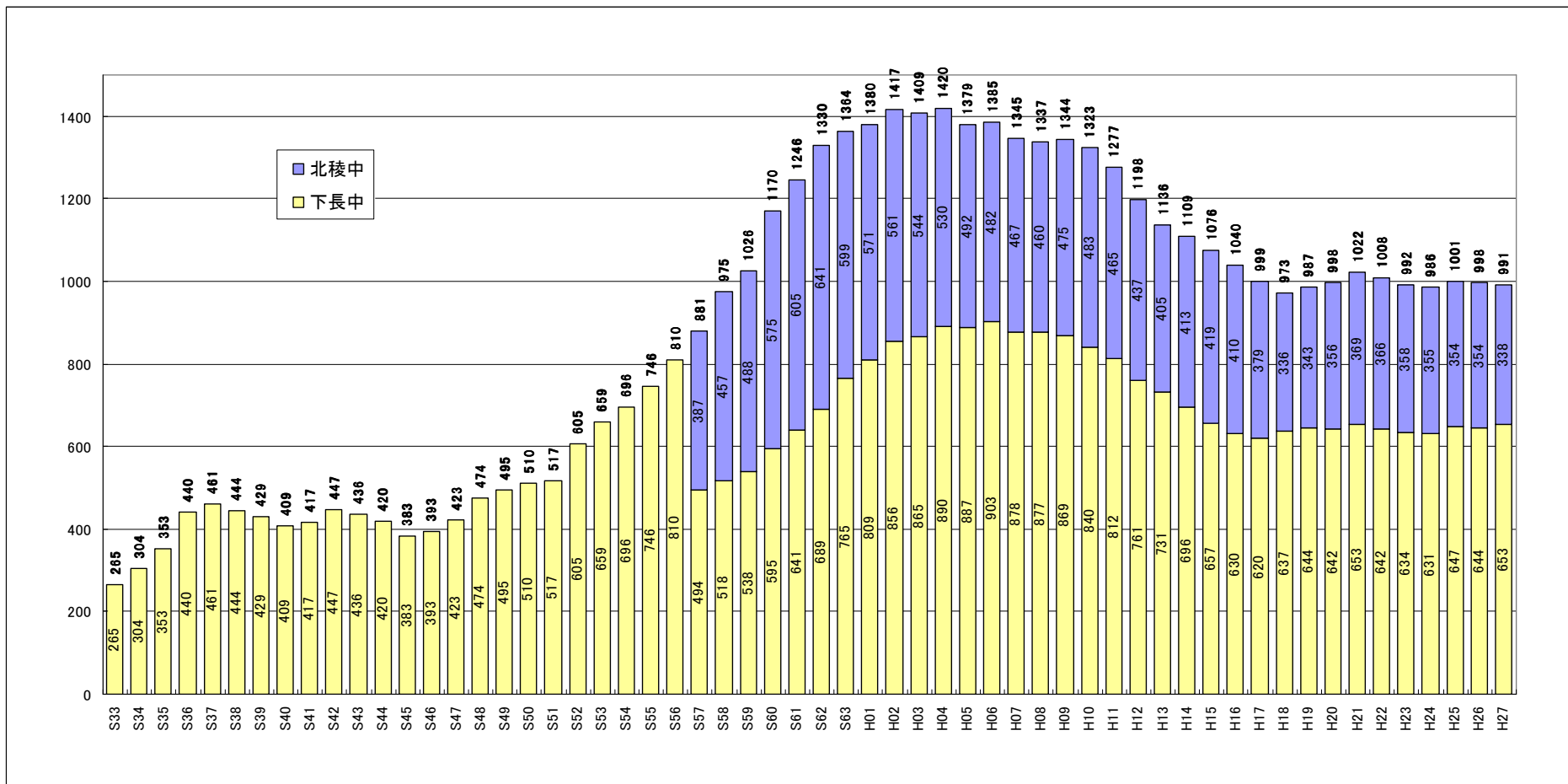
- ①昭和 57 年に北稜中学校を新設する際、当初、高館小学校は北稜中学校とされていたが、地元の反対運動で下長中学校に残った。
- ②北稜中学校の分離後も下長中学校の増加は続いたため、昭和 57 年 11 月に、教育委員会から高館小学校学区の児童生徒に北稜中学校への進学を促す文書を送付した。同年 12 月には、学区の例外的に「河原木県営、河原木県営第二、河原木県営第三、河原木市営、洲先の一部、河原木市営の周辺」の生徒に北稜中学校への進学を勧める文書を送付した。
- ③日計ヶ丘小学校は、根岸小学校の児童数増の対策として新設されたが、同時に城北小学校も限界まで大規模化した。その際に城北小学校の学区の一部を根岸小学校に移すことを地元と協議したが、不調に終わった。加えて城北小学校が当初の予想よりも児童数が増えない見込みが出てきたため、最終的には変更しないこととした。

3. 児童生徒数の推移

(1) 当該地区の小学校の児童数



(2) 当該地区の中学校の生徒数推移



4. 昭和以降の学校新設の経緯

(1) 城北小学校設立（昭和 58 年 4 月）の経緯

昭和50年9月4日	<p>【諮問】教育委員会→通学区域審議会 ○下長地区（石堂・河原木）区画整理事業にともなう学区編制について 他 ・新設小学校（城北小学校）について 他</p>						
昭和56年9月24日	<p>【審議要求】教育委員会→通学区域審議会会長 ○下長小学校に係る学区編制について （昭和50年から継続審議となっていたものを改めて審議要求） [内容]（抜粋） ・区画整理事業地内は公営住宅、一般住宅の建設により人口が大幅に増加している。 ・昭和56年度は21学級780人であり、現有の施設は文部省基準を下回り、プレハブ10教室を使用している。 ・今後も公営住宅の完成が控えており、一般住宅の増加も考慮すると、児童が増加するのは明らか。 ・新設の小学校を設置する以外に、下長小学校を適正規模に縮小するのは不可能。</p> <table border="1" data-bbox="507 1016 1359 1137"> <tr> <td>学区</td> <td>下長小学校</td> <td>内舟渡、千田、河原木、下長町</td> </tr> <tr> <td></td> <td>新設小学校 (城北小)</td> <td>石堂及びその隣接地区、河原木の公営住宅及びその隣接地区</td> </tr> </table>	学区	下長小学校	内舟渡、千田、河原木、下長町		新設小学校 (城北小)	石堂及びその隣接地区、河原木の公営住宅及びその隣接地区
学区	下長小学校	内舟渡、千田、河原木、下長町					
	新設小学校 (城北小)	石堂及びその隣接地区、河原木の公営住宅及びその隣接地区					
昭和56年11月11日	<p>【答申】通学区域審議会会長→教育委員会委員長 ○下長小学校に係る学区編制について [内容]（抜粋） ・土地区画整理事業開始以来、急激に児童数が増加し、3年連続20%を超えたこともある。 ・現在の他の通学区域には見られない増加率を示している。 ・学校施設が手狭になり、プレハブ10教室を使用しているが、他校に比較して好ましい教育施設とはいえない。 ・今年度の21学級は適正規模を既に超えており、昭和62年度には31学級になる見込み。 ・大規模化が予想されるため、施設の拡充よりも、新設校を1校設けることが最善策。</p> <table border="1" data-bbox="507 1653 1359 1852"> <tr> <td>学区</td> <td>下長小学校</td> <td>内舟渡、千田、河原木、下長町の各町内とこれらの隣接地区</td> </tr> <tr> <td></td> <td>新設小学校 (城北小)</td> <td>石堂、河原木県営、河原木県営第二、河原木県営第三、河原木市営の各町内とこれらの隣接地区</td> </tr> </table>	学区	下長小学校	内舟渡、千田、河原木、下長町の各町内とこれらの隣接地区		新設小学校 (城北小)	石堂、河原木県営、河原木県営第二、河原木県営第三、河原木市営の各町内とこれらの隣接地区
学区	下長小学校	内舟渡、千田、河原木、下長町の各町内とこれらの隣接地区					
	新設小学校 (城北小)	石堂、河原木県営、河原木県営第二、河原木県営第三、河原木市営の各町内とこれらの隣接地区					

○洲先町内について

- ・設立は昭和57年5月で、「石堂」「八太郎」「高州町」の一部が集まって「洲先」となる。
- ・通学区域は、城北小学校と根岸小学校に分かれている。
- ・連合町内会は根岸連合町内会に属している。

(2) 日計ヶ丘小学校設立（平成5年4月）の経緯

平成3年1月17日	<p>【諮問】 教育委員会→通学区域審議会 ○第二根岸小学校（日計ヶ丘小学校）の通学区域について [内容] 抜粋</p> <ul style="list-style-type: none"> ・根岸小学校は、平成2年度で30学級の大規模校であり、平成3年度には31学級の過大規模校となる。 ・解消のためには、分離新設が最善の対策。 						
平成3年1月17日	<p>【答申】 通学区域審議会会長→教育委員会委員長 ○第二根岸小学校（日計ヶ丘小学校）の通学区域について [内容] (抜粋)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地形を考慮し、通学に支障がないように配慮すること、地元の意見を尊重すること、第二根岸小学校（日計ヶ丘小学校）が適正規模の学校になること、の三点に留意して審議した結果、根岸小学校の学区を二分するのが適切。 <table border="1" data-bbox="507 896 1356 1057"> <tr> <td data-bbox="507 896 612 976">学区</td> <td data-bbox="612 896 852 976">根岸小学校</td> <td data-bbox="852 896 1356 976">日計、八太郎、高州町、洲先（下長七丁目4~9、八丁目）、日計団地</td> </tr> <tr> <td></td> <td data-bbox="612 976 852 1057">第二根岸小学校（日計ヶ丘小）</td> <td data-bbox="852 976 1356 1057">陸上自衛隊官舎、海上自衛隊官舎、日計ヶ丘</td> </tr> </table>	学区	根岸小学校	日計、八太郎、高州町、洲先（下長七丁目4~9、八丁目）、日計団地		第二根岸小学校（日計ヶ丘小）	陸上自衛隊官舎、海上自衛隊官舎、日計ヶ丘
学区	根岸小学校	日計、八太郎、高州町、洲先（下長七丁目4~9、八丁目）、日計団地					
	第二根岸小学校（日計ヶ丘小）	陸上自衛隊官舎、海上自衛隊官舎、日計ヶ丘					

(3) 北稜中学校設立（昭和 57 年 4 月）の経緯

<p>昭和 55 年 5 月 14 日</p>	<p>【諮問】 教育委員会→通学区域審議会 ○下長中学校の通学区域編制について [内容] (抜粋)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・下長地区の人口増加率は市内随一。 ・石堂、河原木土地区画整理地域には公営住宅も建設。 ・下長中学校は昭和 50 年度の 12 学級 510 人から昭和 55 年度には 19 学級 737 人となり、昭和 60 年度には 27 学級の見込みで、適正規模を超えている。 ・保有面積が文部省基準を大幅に下回り、プレハブ校舎 9 教室を使用している。施設拡張が急務。 <table border="1" data-bbox="507 696 1313 819"> <tr> <td>中学校</td> <td>学区小学校</td> </tr> <tr> <td>新設中学校（北稜中学校）</td> <td>高館小学校、根岸小学校</td> </tr> <tr> <td>下長中学校</td> <td>下長小学校</td> </tr> </table>	中学校	学区小学校	新設中学校（北稜中学校）	高館小学校、根岸小学校	下長中学校	下長小学校
中学校	学区小学校						
新設中学校（北稜中学校）	高館小学校、根岸小学校						
下長中学校	下長小学校						
<p>昭和 56 年 1 月 16 日</p>	<p>【答申】 通学区域審議会会長→教育委員会委員長 ○下長中学校の通学区域編制について [内容] (抜粋)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・昭和 61 年度には 27 学級を超える見込みで、適正規模校 2 校分に相当する大規模校になる。 ・現有の敷地等を見ると、もはや新設校を設置する以外に、教育環境の整備を図ることはできない。 ・新設中学校は高館小学校と根岸小学校とするのが妥当ではあるが、1,419 人の署名をもって高館小学校学区全域が新設中学校の学区に入ることを反対する内容の陳情書が審議会会長宛に提出されたことなどを受け、地元住民の意思を尊重する。 <table border="1" data-bbox="507 1341 1313 1464"> <tr> <td>中学校</td> <td>学区小学校</td> </tr> <tr> <td>新設中学校（北稜中学校）</td> <td>根岸小学校</td> </tr> <tr> <td>下長中学校</td> <td>下長小学校、高館小学校</td> </tr> </table> <p>ただし、以上を原則としながらも、下長地区の今後の児童生徒の急増と適正規模校を考慮して、新設校に高館小学校の一部通学を認めながら将来学区を再編するのが望ましい。</p>	中学校	学区小学校	新設中学校（北稜中学校）	根岸小学校	下長中学校	下長小学校、高館小学校
中学校	学区小学校						
新設中学校（北稜中学校）	根岸小学校						
下長中学校	下長小学校、高館小学校						